

第6回新庁舎建設基本計画検討委員会（有識者会議） での協議結果について

開催日時：平成30年11月14日（水）17時30分～19時30分

1 議事

（1）前回会議の協議結果等について

【事務局からの配布資料、説明】

第5回会議の議論を振り返り、新庁舎への導入機能や現本庁舎の存廃に対する意見を整理したものを提示した。



【有識者会議での整理】

- ・ 「現本庁舎の取り壊しもやむなし」とした記載部分に関し、「その理由を基本計画の中で記載すべきではないか」という意見が出された。
- ・ パブリックコメントの後、市民等の意見を反映した計画を、再度、委員会に諮ることとした。
- ・ 第1回会議で示したスケジュールに関し、庁内会議や本委員会の開催実績に合わせて修正したものを次回会議で提出することとした。

（2）基本計画（素案）について

【事務局からの配布資料、説明】

基本計画の素案を示し、第5回会議で指摘のあった事項に関連した変更点などを中心に説明を行った。



【有識者会議での整理】

- ・ 新庁舎への導入機能に関し、「職員の教育など、ソフト面の充実なども加えてほしい」という意見が出された。
- ・ 現本庁舎の存廃に関して、「検討経緯として、『現本庁舎の近代建築としての評価などを踏まえた上で、市民アンケートの結果や経済性などに鑑みて、取り壊しや建替えはやむなしというところに至った』ということ盛り込む必要がある」という意見が出された。

- 津波浸水対策に関して、

「地盤の嵩上げをした場合、『市役所だけ良ければいいのか』となってしまうので、新庁舎の1階部分はピロティとするか、一定程度は浸水してもいい構造とする計画の方がいいのではないか」

「地盤の嵩上げについては、バリアフリーやフェーズフリーの観点から、もう少し検討する必要がある」

「地盤の嵩上げによる費用の増大が見込まれるのであれば、概算事業費の中に記載しておくべきではないか」

という意見が出された。
- 事業スケジュールに関して、

「DB1方式だけでなく、其他方式の事業スケジュールも提示した上で、事業の終期にどのような差が出てくるかを、もう少し正確に表現する必要がある」

という意見が出された。
- 財源計画に関し、

「交付金措置を除いた市の実質負担額を明らかにした方がいい」

「集約された後の建物・土地の売却益なども財源計画に盛り込む必要があるのではないか」

という意見が出された。
- 基本計画の位置付けに関し、

「基本計画は、設計にあたっての参考文献なのか、守るべき条件なのか。何から何まで本編に記載するとなると、どんどん発散してしまうので、その位置付けをハッキリさせた上で、本編に記載するもの、資料編に記載するものなどの整理をするべき」

という意見が出された。
- 基本理念に関し、

「基本計画の中で『鳴門らしさ』という部分に関する部分が抜け落ちている気がする。『鳴門らしさ』の定義について、整理する必要がある」

という意見が出された。
- 配置計画に関し、

「視認性や消防庁舎との連携、市道付け替えによる利便性向上などを考慮すると、A案とB案を一概に〇×で評価するのは望ましくないのではないか」

という意見が出された。
- 設計事業者の選定に関し、

「競争の中でよりよいものを選ぶことができる、コンペ方式などの採用を考えていただきたい」

という意見が出された。
- 新庁舎の想定規模に関して、

「国土交通省の面積基準を踏まえ、新庁舎の想定規模は、10,000～12,000㎡ではなく、8,000～12,000㎡でもよいのではないか」

という意見が出された。